

6次産業化部門

山口県山口市 有限会社船方総合農場

代表取締役：坂本^{さかもと}賢一^{けんいち}氏
経営規模：搾乳牛154頭、肥育牛71等、
水稲40.05ha（作業受託含む）、
飼料作物25ha（採草放牧地含む）



<取組概要>

1972年に法人設立後、酪農経営を中心に地域の農家と連携しながら規模拡大。「6次産業化＝(1次×3次×2次)＋「0円リゾート」」を提唱し、1次、2次、3次産業別にグループ内で別会社を設立。1次産業部分を担う同社の安全・安心な顔の見える農産物づくりを土台として、約30年前から6次産業化を実践。

船方農場グループでは、通常の1次(生産)→2次(加工)→3次(販売・サービス)ではなく、1次(生産)の次に「都市と農村の交流」(＝0円リゾート)を行った後に2次(加工)に着手。商品を作る前に確実に購入してくれるファンを獲得したことが成功の秘訣。

第2次産業分野では、生乳を用いて製品を加工し、8,000軒に宅配。牛乳の宅配網に米等の農産品・農産物加工品も乗せて届けることで、顧客を拡大。

第3次産業分野では、バーベキューや乳搾り体験、喫茶、家畜とのふれあいなど消費者との交流部門を担当。2018年3月には大規模改修・改装したJR新山口駅に「Cafe & Bar PLATFARM」をオープンし、都市と農村をつなぐ活動の幅を拡大。

生産量と消費量のバランスが崩れれば全ての面に問題が生じるとの考えの下、1次産業を担う同社がグループ会社と密に情報交換・連携を図り、生産活動を展開。